「マルチステークホルダー方針」

当社は、お客さまや地域のみなさま、株主や投資家のみなさま、取引先、そして、従業員やその家族をはじめとするマルチステークホルダーとの価値協創が重要となっていることを踏まえ、マルチステークホルダーとの適切な協働に取り組んでまいります。その上で、価値協創や生産性向上によって生み出された収益・成果について、マルチステークホルダーへの適切な分配を行うことが、当社グループの持続的な成長につながるとともに、九州、日本経済の持続的発展につながると考えており、従業員への還元や取引先への配慮について、以下の取組みを進めてまいります。

記

１．従業員への還元

当社はJR九州グループ中期経営計画（2025-2027）における各種戦略に連動した人材戦略を推進することで、事業の持続可能な成長と生産性向上を図ります。また、社員の誰もがやりがいを持ち、いきいきと活躍できる環境を整え、人間力と実務力を持つ社員の育成を図ることが、経営理念で掲げる「九州の元気を、世界へ」という私たちの夢の実現につながると考えており、付加価値の最大化に寄与するものと認識しております。社員一人ひとりが創意工夫のうえで創出した収益等については、賃金の引上げを含む、総合的な処遇改善や教育訓練等を中心に、人への投資を積極的に行い、従業員への持続的な還元に取り組んでまいります。

（個別項目）

具体的には、賃金の引上げについては、当社を取り巻く経営環境や業績、中長期的な見通し等を踏まえ、夏季・年末手当の支給等を含め、労働条件の改善を実施するとともに、教育訓練等について、社員のエンゲージメント向上や更なる生産性の向上に資するよう、意欲と能力のある社員への挑戦・成長の機会の提供と、その支援等に取り組むことで、社員の“個”の力の最大化を図り、各事業の成長にもつなげてまいります。

２．取引先への配慮

当社はパートナーシップ構築宣言の内容遵守に、引き続き、取り組んでまいります。

なお、パートナーシップ構築宣言のポータルサイトへの掲載が取りやめとなった場合、マルチステークホルダー方針の公表を自主的に取り下げます。

・ パートナーシップ構築宣言のＵＲＬ

【https://www.biz-partnership.jp/declaration/16213-08-00-fukuoka.pdf】

また、消費税の免税事業者との取引関係についても、政府が公表する免税事業者及びその取引先のインボイス制度への対応に関する考え方等を参照し、適切な関係の構築に取り組んでまいります。

３．その他のステークホルダーに関する取組

私たちが営むあらゆる事業は、安全であるというお客さまからの信頼の上に成り立っており、安全を最優先とし誠実に手間を惜しまず、お客さまにとって価値のある商品やサービスを提供することで、お客さま満足向上を追求してまいります。また、モビリティサー

ビスを軸に総合力を活かした、地域との共創によるまちづくりを推進し、まちとまち、まちと人、人と人をつなぎ、当社グループに関わるすべての人と手を取り合いながら、持続可能で魅力あふれる「住みたい、働きたい、訪れたい」まちづくりを推進します。

　従業員に対しては価値創造の源泉である人づくりを重視し、多様な価値観や能力を活かし、一人ひとりの力を最大限に引き出すことに努めています。また、投資家や株主に対して適切な情報開示を行うための、体制・仕組みの整備・改善に取り組んでいます。これらの活動を通じて、多様なステークホルダーとの対話を深め、持続可能な社会の形成に貢献してまいります

これらの項目について、取組み状況の確認を行いつつ、着実な取組みを進めてまいります。

以上

令和 7 年 3 月 31 日

九州旅客鉄道株式会社　　代表取締役社長執行役員　　古宮　洋二